

品質と生産性の向上で社会貢献

建設コンサルタンツ協会会長 野崎 秀則



新型コロナウイルス感染症とともにインフラ老朽化が定」については、その広がり
の収束が期待される中、いま進む中、防災・減災、国土強靱により、社会資本整備の品質
こそインフラ事業を通じて地化は待ったなしの状況です。向上が図られ、「社会への貢
献の魅力を高め、持続可能社このような状況に対し建設コ 献」につながり、「建設コン
会の形成につなげる必要があ ンサルタントは、ますます技 サルタントの魅力の向上」に
ります。また、気候変動に伴 術を磨き、主体的に役割を担 つながると考えます。
い、災害が激甚化・頻発化す ってまいりたいと考えます。「DXの推進」については、

建設コンサルタンツ協会と 昨年7月に「DX推進特別本
としては本年、特に重点的に、 部」を設置し、この取り組み
「技術力による選定」と「D を通じて、建設産業の生産性
Xの推進」に取り組んでいく 向上や働き方改革に貢献でき
所存です。「技術力による選 ればと考えます。」